

大山倍達総裁二十三回忌

4月23日(土)、極真会館の創始者「故・大山倍達二十三回忌法要」が、お墓のある護国寺にてしめやかに執り行われました。(施主 大山 喜久子・実行委員長 三宅 進)

大山総裁が他界して22年の本年は、二十三回忌という節目の年という事もあり、大山総裁存命時の支部長・内弟子・選手の方々、ご縁の深かった皆さまが多数お集まりいただきました。



大山総裁存命時の総本部役員を務めた、三宅 進実行委員長の「この法要を(大山総裁の墓のある)護国寺でやるということは、ここから心は一つに、また新しいスタートが出来る。世界の極真のために大いに力を合わせていきましょう」と開会の挨拶。



最後に施主である、大山喜久子より「皆様、本日は集まっていたいただきありがとうございます。これからもご縁で繋がっていきましょう」と今回の二十三回忌のテーマである「和合」に沿った挨拶で締められた。



お忙しい中お集まりいただきました皆様、お心遣いいただきました皆様、本当にありがとうございました。この場を借りて深く御礼申し上げます。